

クワゴマダラヒトリに対する薬剤の効果					
[要約] 4 月中下旬に採取したクワゴマダラヒトリ老齢幼虫に対して、 <u>ダーズバン乳剤 40</u> 、 <u>オリオン水和剤 40</u> の効果が高い。					
果樹試験場・病害虫研究担当			連絡先		0952-73-2275 kajushiken@pref.saga.lg.jp
部会名	果樹	専門	果樹虫害	対象	果樹類

**[背景・ねらい]**

近年、露地カンキツ、露地ナシ、キウイフルーツ等において、新葉展開時のクワゴマダラヒトリによる被害が問題となっている。しかし、クワゴマダラヒトリ幼虫に対する薬剤の効果については不明な点が多いことから、各薬剤の効果を調査し、防除対策の資料とする。

**[成果の内容]**

1. 食餌浸漬処理による検定では、ダーズバン乳剤 40、オリオン水和剤 40 の処理 6 日後の補正死虫率が 100% と効果が高かった (表 1)。
2. 虫体浸漬処理による検定では、ダーズバン乳剤 40、オリオン水和剤 40、ロディー乳剤の処理 6 日後の補正死虫率が 100% と効果が高かった (表 2)。

**[成果の活用面・留意点]**

1. 本試験では、4 月中旬から下旬に佐賀県果樹試験場内カンキツ園周辺の雑草に寄生しているクワゴマダラヒトリ老齢幼虫を採集し、採集当日に薬剤処理を行った。食餌浸漬処理は餌となる雑草(カラスノエンドウ)を薬液処理し、虫体浸漬処理は幼虫を直接薬剤に浸漬して行った。
2. 今回の試験に供試した薬剤のうちクワゴマダラヒトリ幼虫で登録のある剤はダーズバン乳剤 40 (登録樹種:カンキツ、みかん)であり、ケムシ類で登録のある剤はファイブスター顆粒水和剤(果樹類)、ロディー乳剤(カンキツ)、オリオン水和剤 40(カンキツ、ナシ等)、エクシレル SE(カンキツ、ナシ等)、フェニックスフロアブル(カンキツ、ナシ等)、ディアナ WDG(カンキツ)である。
3. 雑木に近いところや雑草が多いところの樹に寄生が多くなるので、雑草や不必要な雑木などは早めに除去し、本虫の寄生を確認した場合は早急に防除を行う。

[具体的なデータ]

表1 食餌浸漬処理による各薬剤のクワゴマダラヒトリ幼虫への効果

供試薬剤	倍数	供試虫数	補正死虫率(%)			
			1日後	2日後	3日後	6日後
ダーズバン乳剤40	1000	10	90.0	90.0	100	100
オリオン水和剤40	1000	10	90.0	100	100	100
ロディー乳剤	2000	10	40.0	40.0	40.0	44.4
ファイブスター顆粒水和剤	1000	10	70.0	70.0	70.0	77.8
		10	20.0	60.0	60.0	70.0*
エクシレルSE	5000	10	40.0	40.0	40.0	33.3
		10	40.0	50.0	50.0	60.0
フェニックスフロアブル	4000	10	80.0	80.0	50.0	66.7
		10	50.0	80.0	80.0	100
ディアナWDG	5000	9	11.1	11.1	33.3	55.6*

※：処理5日後の補正死虫率

表2 虫体浸漬処理による各薬剤のクワゴマダラヒトリ幼虫への効果

供試薬剤	倍数	供試虫数	補正死虫率(%)			
			1日後	2日後	3日後	6日後
ダーズバン乳剤40	1000	10	100	100	100	100
オリオン水和剤40	1000	10	100	100	100	100
ロディー乳剤	2000	10	100	100	100	100
ファイブスター顆粒水和剤	1000	8	0	37.5	37.5	50.0
エクシレルSE	5000	8	62.5	62.5	62.5	62.5
フェニックスフロアブル	4000	9	0	22.2	22.2	22.2
		7	28.6	18.4	18.4	42.9
ディアナWDG	5000	10	30.0	50.0	50.0	50.0*

※：処理5日後の補正死虫率

[その他]

研究課題名：果樹における難防除および新奇病害虫の迅速な防除技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2016年

研究担当者：白石祥子・口木文孝・野口真弓

協力・分担関係：なし

発表論文等：なし